

# Storm Wines (Walker Bay)

ストーム・ワインズ(ウォーカー・ベイ)



## 《詳細・歴史》

2012年、ピノ・ノワールの名手であるハネス・ストーム氏によってウォーカー・ベイに設立されたワイナリーです。彼は南アフリカの首都プレトリア出身で、ワインコレクターだった父の影響でステレンボッシュ大学で栽培と醸造を学びますが、学生の頃から、かの「ハミルトン・ラッセル」で研鑽を積み、後に醸造長に就任します。大学時代に虜になったピノ・ノワールとシャルドネを扱う彼の技術は卓越しており、「ハミルトン・ラッセル」での活躍の傍ら、他の小規模生産者の栽培コンサルタントを務めるなど若くして敏腕ぶりを発揮してきました。また、元来数字に強く非常に論理的で、データと科学的根拠に基づく一面も持ち合わせています。

本拠を置いているウォーカー・ベイのHemel-en-Aarde / ヘメル・アン・アード地区はケープタウンから東へ120kmの海の近くに位置し、南極から流れるベンゲラ海流と大西洋からの冷たい南東の風の影響を受けており、灼熱の南アフリカにおいて並外れた冷涼な海洋性気候で、正にピノ・ノワールとシャルドネの聖地となっています。またウエスタン・ケープ州の他のワイン産地よりも年間の降水量が多いため、干ばつの影響を受けにくい利点もあります。

ハネス・ストーム氏は非常に勤勉家で温かく愛に溢れた人柄であることから、彼の周りのワイン造りに携わる人々や友人たちからだけでなく、地域の人々や流通に関わる人たちからもとても愛されています。恵まれたウォーカー・ベイの大地と、ハネスの手によって育まれたブドウから生まれるエレガントで繊細なキュヴェを、どうぞお楽しみください！

## 産地 Hemel-en-Aarde / ヘメル・アン・アード「天と地」と3つの小地区

ケープタウンから東へ120kmに位置し、シロナガスクジラが見れることでも大変人気のリゾート地「ヘルマナス」にあるワイン産地「ウォーカー・ベイ地域」は海洋性気候で、中でも、大西洋と南極から流れてくるベンゲラ海流の冷たい風の影響を受ける、ひと際冷涼な銘醸地が「Hemel-en-Aarde」です。およそ450ヘクタールのブドウ畑が広がっており、2009年に3つの小地区が設けられました。現在この新たな3地区すべてに自社畑を所有してワイン造りを行っているのはこの「ストーム・ワインズ」だけです。「Hemel-en-Aarde」はアフリカンス語で「天と地」を意味します。

①Hemel-en-Aarde Valley / ヘメル・アン・アード・ヴァレー:【標高】125m 最も海寄りで標高は低く温暖【土壌】粘土がちな頁岩

②Upper Hemel-en-Aarde Valley / アッパー・ヘメル・アン・アード・ヴァレー:【標高】225m 3地区の中間【土壌】風化した花崗岩

③Hemel-en-Aarde Ridge / ヘメル・アン・アード・リッジ:【標高】330m 最も標高が高く冷涼【土壌】頁岩

※①に位置する畑「フレダ」と③に位置する畑「リッジ」は同じ土壌で標高違い。②に位置する「イグニス」のみ異なる土壌で花崗岩

## 《醸造》

3つの異なる地区(ワード)の個性を活かすため、人的介入は最小限にとどめ、徹底した少量生産を貫くことにより、最大限にその魅力を発揮しています。醸造はゆっくりと行われ、長期熟成に耐えるワイン造りを行っています。

【全房使用率】テロワールの特徴を生かすため15~20%以内に抑える

【熟成樽】キュヴェによって細かく樽を使い分けています。すべてフレンチオーク小樽で(フランソワ・フレール製、ルイ・ラトール製、シャサン製、メイリュエ製)、古樽は「ハミルトン・ラッセル」のお下がりが使用しています。

【熟成期間】約11~18カ月間



商品コード	ワイン名	VT	参考上代(税別)
72810123	Vrede Chardonnay フレダ・シャルドネ	2023	¥9,500



【キュヴェ名】「Vrede/フレダ」とはアフリカンス語で「平和」。初ヴィンテージは2015年。  
 【2023年】不安定な冬の気候により芽吹きがばらつき、フレダは特に非常に収量の少ないヴィンテージとなりました。  
 【産地】Hemel-en-Aarde-Valley/ヘメル・アン・アード・ヴァレー  
 【畑立地】北東向きの急斜面。標高は約125mで温暖な気候。シャルドネとピノ・ノワールの畑は隣接。  
 【土壌】4億年前のデボン紀のボックフェルド・シェール：石が多く粘土が豊富な頁岩 【植樹】2006年  
 【発酵】バスケット・プレスにて搾汁後、フレンチオーク小樽(228L)にて野生酵母による自然発酵  
 【熟成】フレンチオークにて11ヶ月間熟成(新樽 35%)  
 【テイastingノート】スモーキーさのあとに、ピーチ、レモンやオレンジ、さらには微かなバニラとスパイスのニュアンスが現れます。  
 パレットは芳醇でまろやか十分な果実味が活気あふれる酸と見事に調和し、長い余韻へと誘います。  
 【評価】Tim Atkin MW South Africa Special Report 2024:94pt  
 【アルコール度数】13.0%

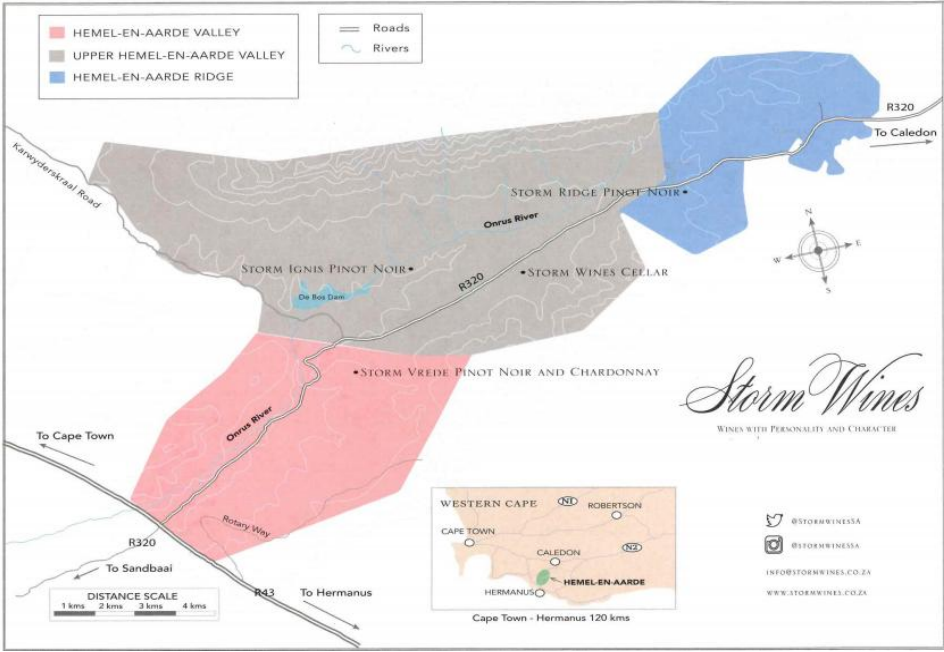
JAN 0737186901967

72811123	Ridge Chardonnay リッジ・シャルドネ	2023	¥9,500
----------	-------------------------------	------	--------



【キュヴェ】4ヴィンテージ目を迎えたクラシック・スタイル・キュヴェ。「フレダ」と同じ土壌(頁岩)ですが標高が高く、より色調が濃く、酸やスパイスさも増します。初ヴィンテージは2019年。  
 【2023年】不安定な冬の気候により芽吹きがばらつきがありましたが、リッジは2021年、2022年に続き平均的収量となりました。  
 【産地】Hemel-en-Aarde Ridge/ヘメル・アン・アード・リッジ  
 【畑立地】渓谷に位置した南東向きの斜面、標高330m、海からの冷たい風の影響が揃う3エリアの中で最も涼しく、密植された畑。「フレダ」よりもブドウの生育が遅く、じっくりと味わいを深めていきます。  
 【土壌】4億年前のデボン紀のボックフェルド・シェール：大き目の石が多く粘土が豊富な頁岩  
 【植樹】2009年  
 【発酵】バスケット・プレスにて搾汁後、野生酵母による自然発酵  
 【熟成】80%フレンチオーク(新樽 24%)、20%アンフォラにて11ヶ月間熟成  
 【テイastingノート】花の蕾、レモンやライムなどの柑橘類に微かにパイナップル、ハーブやナッツが複雑に絡み合います。  
 洗練されたピュアな果実味が澁澁とした酸味を伴い、クリーミーな非常に長い余韻へと導きます。  
 【評価】Tim Atkin MW South Africa Special Report 2024:94pt  
 【アルコール度数】13.5%

JAN 0737186901974



商品コード	ワイン名	VT	参考上代(税別)
72830122	Vrede Pinot Noir フレダ・ピノ・ノワール	2022	¥9,500



【キュヴェ名】「Vrede／フレダ」とはアフリカンス語で「平和=Peace」。初ヴィンテージは2012年。  
 【2022年】過去24年の中で一番雨量の多い冬を過ごしました。乾いた土壌は十分に満たされ、品質が伴いながら満足のいく収量ととなったのは初めての事です。(2021年はあまりにも収量の少ないヴィンテージでした。)  
 【産地】Hemel-en-Aarde-Valley／ヘメル・アン・アード・ヴァレー  
 【畑立地】北東向きの比較的きつい斜面で生育には厳しい条件。標高は高くなく、温暖な気候。  
 【土壌】4億年前のデボン紀のボックフェルド・シェール：石が多く粘土が豊富な頁岩  
 【植樹】2008年  
 【発酵】フレンチオーク小樽(228L)にて野生酵母による自然発酵  
 【熟成】フレンチオークにて11ヶ月間熟成(新樽 42%)  
 【テイスティングノート】アロマにはダークチェリーやスパイスに加え、土壌を感じることができます。口に含むと深みのあるフルーツ感がキラキラとした酸と、シルキーでありながらしっかりとしたタンニンと絡み合い、心地よくドライなフィニッシュへと誘います。  
 【評価】Tim Atkin MW South Africa Special Report 2023:97pt “Wine of the Year for Pinot Noir”  
 【アルコール度数】13.5%

JAN 0737186901936

72831122	Ignis Pinot Noir イグニス・ピノ・ノワール	2022	¥9,500
----------	----------------------------------	------	--------



【キュヴェ】ラテン語で「火」を意味しますが、この畑の土壌が火山成岩の一種の花崗岩で、見た目がゴロゴロと赤みを帯びた茶色であることから「火から石へ、そして樹へ」という思いを込めて名付けられました。唯一の花崗岩土壌で、最も繊細で緊張感があり、ブルゴーニュ愛好家垂涎の銘キュヴェです。初ヴィンテージは2012年。  
 【2022年】過去24年の中で一番雨量の多い冬を過ごしました。乾いた土壌は十分に満たされ、品質が伴いながら満足のいく収量ととなったのは初めての事です。  
 【産地】Upper Hemel-en-Aarde-Valley／アッパー・ヘメル・アン・アード・ヴァレー  
 【標高】3地区の中間に位置し、約225m 【畑立地】北向き  
 【土壌】かつて河川だったため円みを帯びた小石と砂利の混ざる風化した花崗岩で下層は粘土質  
 【植樹】2008年 【発酵】フレンチオーク小樽(228L)にて野生酵母による自然発酵  
 【熟成】フレンチオークにて11ヶ月間熟成(新樽 33%)  
 【テイスティングノート】アロマにはレッドチェリー、野イチゴや、自生するフィンボス(南アフリカ特有の灌木・ハーブ類)やスパイス類などが魅惑的に現れ、パレットは軽やかでありながらきめ細やか。複雑なアロマが感じられ、花崗岩由来のグリップ感と、凝縮した果実味、オーク由来のスパイスさ、シルキーなタンニンが絶妙な調和を見せています。明るく透明感のあるフルーツ感と澆冽とした酸、非常にきめの細かいタンニンが口の中に広がり、ワインの活力が塩味を帯びて長い余韻へと続きます  
 【評価】Tim Atkin MW South Africa Special Report 2023:96pt、Platter's Guide:5 stars  
 【アルコール度数】13.5%

JAN 0737186901929

72832122	Ridge Pinot Noir リッジ・ピノ・ノワール	2022	¥9,500
----------	---------------------------------	------	--------



【キュヴェ】「フレダ」と同じ土壌(頁岩)ですが標高が高く、より色調が濃く、酸やスパイスさも増します。初ヴィンテージは2015年。  
 【2022年】過去24年の中で一番雨量の多い冬を過ごしました。乾いた土壌は十分に満たされ、品質が伴いながら満足のいく収量ととなったのは初めての事です。  
 【産地】Hemel-en-Aarde Ridge／ヘメル・アン・アード・リッジ  
 【畑立地】渓谷に位置した東向きの斜面。標高330mで冷たい風の影響で最も涼しい畑。「フレダ」よりもブドウの生育が1カ月ほど遅く、じっくりと味わいを深めていきます。  
 【土壌】4億年前のデボン紀のボックフェルド・シェール：大き目の石が多く粘土が豊富な頁岩  
 【植樹】2009年  
 【発酵】フレンチオーク小樽(228L)にて野生酵母による自然発酵  
 【熟成】フレンチオークにて11ヶ月間熟成(新樽 29%)  
 【テイスティングノート】赤系と黒系が混じりあったベリー、ムスクやマッシュルームのアロマが複雑に絡み合います。パレットは瑞々しく研ぎ澄まされた果実味が落ち着きを与え、シルキーでありながらエネルギーに満ち溢れたタンニンが官能的な余韻へと誘います。  
 【評価】Tim Atkin MW South Africa Special Report 2023:96t “Wine of the Year for Pinot Noir”  
 【アルコール度数】13.5%

JAN 0737186901950